

SENJU ^{LIVE} WEBセミナー

この度、先生方の様々なニーズにお応えするべく、Webセミナーを企画いたしました。
今回のテーマは最新の眼瞼炎治療を取り上げ、有田玲子先生にご講演頂く運びとなりました。
当Webセミナーは双方向での質疑応答が可能となっております。
万障お繰り合わせの上、ご参加頂きますようお願い申し上げます。

日 時： 2020年 11月 19日（木） 19:00 ～20:00

配信媒体： ZOOMウェビナー 【事前登録制】



有田 玲子 先生

伊藤医院 副院長
LIME研究会代表



『明日から役立つマイボーム腺機能不全診療最前線』

マイボーム腺は瞼板に存在し、涙液油層を分泌している。まぶたと涙液、両方にまたがった疾患である。つまり、マイボーム腺機能不全（Meibomian Gland Dysfunction, MGD）は眼瞼炎の一因であり、蒸発亢進型ドライアイの主因である。

日常の一般診療において私たち眼科医が遭遇する最も頻度の高い疾患のひとつだが、失明しない疾患のため、見過ごされがちだった。今までは対症療法としての治療法しかなく、根本治療となる局所治療薬は皆無だった。

2019年秋にアジスロマイシン点眼液が本邦でも処方できるようになり、状況は一変した。

そもそもアジスロマイシン点眼液は2007年に米国FDAに承認されて以来、MGDの特効薬として国際的ガイドラインに掲載され、現在、26ヵ国で承認され、30報以上の論文でMGDに対する効果が報告されている。マクロライド系の抗菌薬であるが、MGDへの作用機序は抗炎症であると考えられている。処方の際には眼瞼炎の病名が必要である（MGDはAAOの分類においても眼瞼炎の一因である）。

本講演では、MGD治療の本陣を“抗炎症”に置き、実際のMGD患者に処方した臨床例を多数供覧し、最もよい適応や処方のコツを紹介する。さらに国際的に最先端のMGD治療機器であるLipiFlowやIPLを紹介し、重症度による治療方法の使い分けについても言及したい。

主催：千寿製薬株式会社

有田 玲子 先生 ご略歴

- 1994 京都府立医科大学卒業
 - 1997 大阪大学細胞生体工学センター
(染色体機能構造分野) 留学
 - 2001 京都府立医科大学大学院博士課程修了
 - 2002 慶應義塾大学眼科助手
 - 2005 伊藤医院眼科副院長
 - 2007 東京大学眼科臨床研究員
 - 2011 慶應義塾大学眼科講師 (非常勤)
- 現在に至る

こちらのURLもしくはQRコードから視聴の事前登録をお願い致します。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_Iw2o307DRYSOIhm5jOjes9

本名での登録をお願い申し上げます。

* 回線の都合上先着 100名様とさせていただきます。《締切日:11月18日》



- ①お名前・アドレス・ご施設名を入力いただくと、視聴登録完了致します。
- ②登録終了後、「事前登録完了メール」が届きます。
- ③当日は、「事前登録完了メール」に記載の
「こちらから参加できます」をクリックしてWEBセミナールームにお入り下さい。

ご不明な点は、各担当者または大長(だいちょう)までご連絡ください。

TEL : 080-1472-6851

Mail : atsushi-daichou@senju.co.jp

当セミナーはご講演頂く先生と主催者スタッフも離れた場所から配信させていただきます。
若干の画像、音声の乱れ、外部音の入り込みにつきましては予めご容赦頂きますようお願い申し上げます